



発行所
飯田市竜丘公民館
編集人
竜丘公民館広報委員会
印刷所
龍共印刷株式会社
飯田市上郷黒田 ☎22-5353

人口 6,801人
男子 3,335人
女子 3,466人
世帯数 2,277戸
(22年11月末現在)

手作り展示と多彩な催しで賑わう

竜丘地区文化祭



当日は、玄関前にて開会セレモニーが行なわれ、参加団体代表の方々のテープカットで文化祭が開幕しました。

会場内に入ると、各団体グループの、創意工夫された展示品が、所狭しと飾られていました。展示にあたっては、前日の準備で作品の飾り方や空間の利用に苦労したり、床や壁にキズをつけない様工夫したりと見やすく落ち着きのある空間となっていました。

今年度の特別企画展は、三企画が展示されました。二階研修室では、民俗資料保存委員会による、竜丘地区内の石造文化財調査報告が行なわれ、今までの調査

研究の一部が展示され、民俗資料保存委員による、「山岳信仰と民俗信仰に関する石造文化財」の報告会が行なわれ多くの見学者を集めていました。

二つ目は、後世に残す一枚の絵として、竜丘小六年生と大正期の自由画を展示し、多くの方の出品された絵のコーナーとなっていました。ロビー常設展示スペースでは、「竜丘の方々の出版物の企画コーナー」が展示され



貴重な文化財を報告

竜丘地区内の多くの方々が、個人出版された、貴重な資料が展示されていました。

催し物も多彩で、外では警察官の協力により、パトカー・白バイの体験コーナーがあり実際に乗っての写真撮影ができ、多くの親子が興味深く見る姿がとて印象的でした。館内では、折り紙・水引工作教室、電気回路工作や竹とんぼ、風車作りと大盛況で会場からあふれるほどの賑わいでした。

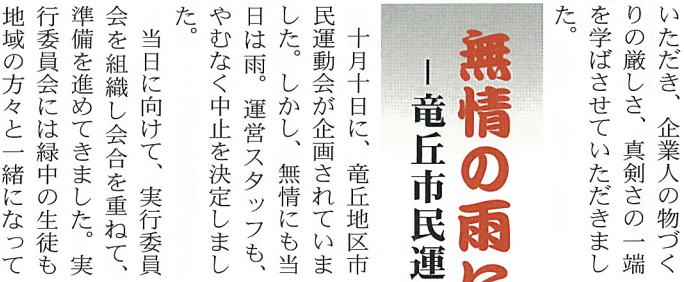
竜丘財産区の森のクラブ体験コーナーでは、松ぼっくりやどんぐり、雑木などの森の素材を使って、写真立てや人形・動物など思い思いのクラフトを夢中になつて作っていました。

和室での、大人の学校の展示では、一六〇名の在校生が、十八のクラブに分かれての一年間の活動の成果



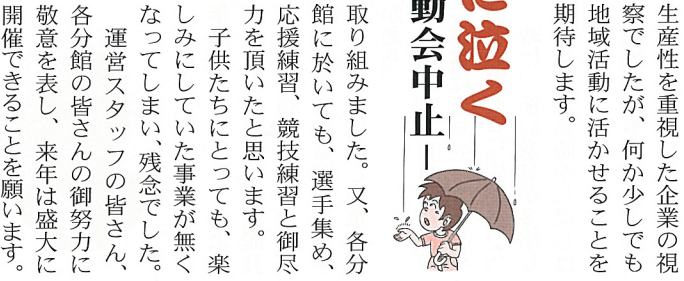
竜丘地域づくり委員会では、毎年実施しています自治会との合同研修を本年度も行いました。

研修の場所は、岐阜県養老町にある車椅子の製作工場の(株)松永製作所を見学しました。車椅子の製造販売では業界トップクラスだそうです。約一五〇種類以上のバリエーションを持ち、オーダーメイド品を含めて一つ



大ホールなど会場配置が良く考えられ見学者の方々が回わりやすい配慮がされて「きれいで良かった」「見やすかった」などの意見が聞かれました。

会場のあちこちで、親子や地区民の触れ合いも多く見られ、素晴らしい文化祭となりました。



午後三時、三重県の鈴鹿市まで移動し、車のリサイクル場である鈴鹿オートリサイクルセンターを見学しました。エアバックを破裂する音にビックリしたり、車体がプレスされキューブ状になるのに感心しました。

今回の視察は、どちらも生産性を重視した企業の視察でしたが、何か少しでも地域活動に活かせることを期待します。

十月十日に、竜丘地区市民運動会が企画されています。しかし、無情にも当日は雨。運営スタッフも、やむなく中止を決定しました。

当日に向けて、実行委員会を組織し会合を重ねて、準備を進めてきました。実行委員会には緑中の生徒も地域の方々と一緒になつて

無情の雨に泣く
— 竜丘市民運動会中止 —

地球温暖化の危機が叫ばれる一方で、ミニ氷河期が来るという話題。そう遠くない未来なので、ちよつと身構えてしまいます。

平成22年度水辺の楽校イベントによせて

社会委員長 福岡 計介

毎年恒例となりました水辺の楽校のイベントは、今年も好天に恵まれ楽しい一日となりました。まず、受付時に三グループに分け水生生物・植物の学習体験での始まりです。今年度も堤先生・木下先生・小林先生の三名の指導により、身近な生物・植物の再認識と、新たな発見を教えていただきました。ひき続きニジマスの魚焼き体験しながらの昼食会です。大勢での青空のもとのお昼は格別の味がします。昼食後子どもたちの楽しみの魚のつかみ取りです。今年



大はしゃぎの子どもたち

はやぶさの業績は、日本からブーメランを投げて、ブラジルのテントウムシに当てて戻ってきたくらいの確率のことであり、すばらしい業績である。

そしてイトカワは、四十六億年前に太陽系ができたころの姿をとどめているとされるので、今後の分析により太陽系の起源に迫る成果が期待されるそうだ。

もう一つのニュースは、太陽活動は二〇一三年をピークに数十年の停滞期を迎えることが予想されており地球が「ミニ氷河期」に入る可能性もあるというものがある。

天文学のファンではないのだが、今年宇宙に関する気になるニュースが二つあった。

一つは、数々のトラブルを乗り越えて、約六十億キロの旅から七年ぶりに帰還した小惑星探査機「はやぶさ」のニュースだ。回収されたカプセルの中には、小惑星「イトカワ」の物質の可能性がある微粒子が入っていることが確認され話題になっている。

ヤブ蚊

蚊のからみつきにより、水の流入に影響が出ています。時折に見回りをしているのは見廻れませぬ。水路流入路の改修工事が必要だと考えておりますが、管理者へのお願ひもこれからしていかなければいけないと思っております。

平成二十二年 三月	○四代目天龍橋が竣工、渡り始めを行う	六、七九六 人	中止
平成二十一年 四月	○竜丘小学校「丘のみちしるべ」を活用し、春の遠足を行う	六、八二二 人	時又分館
平成二十年 二月	○塚原二子塚において第一回古墳まつりを開催する	六、八〇七 人	長野原分館
四月	○天龍峡ICのアクセス道路として桐林大明神原線が開通する		
十一月	○地域の力で子どもを育てる「竜丘放課後子ども教室」の出発の会が行われる		
平成十九年 四月	○自治会と地域づくり委員会による地域自治組織が発足する		
四月	○統々丘の語部たち「心ゆたかに今を生きて」が刊行される		
平成十八年 一月	○あぐりの田んぼ学校、竜丘・時又保育園が地域に根ざした食育コンクールで奨励賞を受賞する	六、八〇二 人	長野原分館
四月	○桐林区が万寿山開園五十周年式典を行う		
平成十七年 三月	○竜丘子どもを皆さんで守る会が発足する	六、八七〇 人	長野原分館
三月	○大座二号古墳を鳴地積第二公園に移築する	六、八六七 人	桐林分館
平成十六年 三月	○新焼却場の竣工式典が行われる		
平成十五年 十二月	○特定環境保全公共下水道「竜丘浄化センター」が完成し通水式が行われる	六、八二三 人	桐林分館
九月	○治水対策事業完成式典が行われる		
平成十四年 一月	○治水対策事業で生まれた「水辺の楽校」でイベントを開催する	六、七六六 人	駄科分館
八月	○合同で行われていた成人式が地区単位の開催に変更となる		
平成十三年 五月	○JICA研修生竜丘公民館で研修する	六、七八四 人	時又分館
五月	○竜丘公民館竣工記念式典が行われる		
三月	○地域の歴史などを学ぶ教材「丘のみちしるべ」を発行する		
三月	○アフィニス夏の音楽祭「くつろぎコンサート」を開催する		

館報から ピタッアップ

◀④新公民館 竣工 252号 平成13年



①東京竜丘会発足 218号 平成6年

祝開校「大人の学校」 身近な授業が好評 生徒募集中

竜丘に新しい学校が開校しました。その名も「大人の学校」です。今年度の公民館事業計画で、高齢者学習者級を作ることが決まりました。「大人の学校」と名づけたのは、多くの人が学ぶことに意識が持てるように、事前打合わせを四回行った中で、運営委員の人達により決まりました。

七月十六日に開校式が行なわれ、校長には公民館長が就任し、運営委員を中心に、現在六十一名の生徒が毎月一回、二時間程度の授業に熱心に取り組んでいます。事前に、希望する受講内容について、アンケートを取り、竜丘地区内で関心の高い行事や歴史、料理や食文化、健康講座など、様々な授業が盛り込まれています。



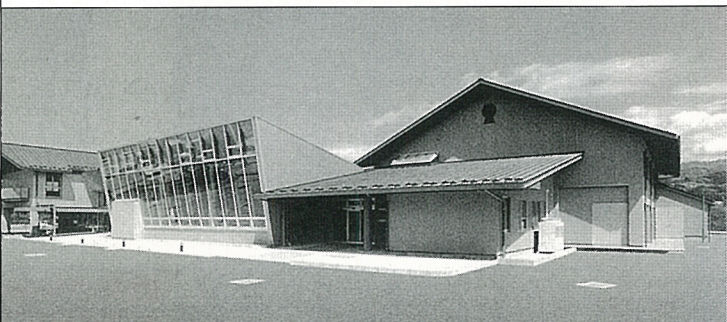
③ニューイヤーコンサート 始まる 227号 平成8年



⑥第1回古墳まつり開催 286号 平成20年

待望の 新公民館竣工

…二十一世紀の幕明け…



平成五年に建設委員会が設立されて以来、地区の皆さん要望と熱意を支えられ、ついに完成した新公民館。約二百五十人の皆さんが参加し新公民館の完成を喜びました。

午前十時、澄みきった青空の下、地域の交流の場となる公民館の落成式典が、伊藤建設委員長、田中飯田市長、教育委員、各分館長、建設関係者、各分館長の皆さんによる「くす玉割り」が行われ、参加者の皆さんが大きな拍手を送っていました。

午後、伊藤建設委員長、田中飯田市長、教育委員、各分館長の皆さんによる「くす玉割り」が行われ、参加者の皆さんが大きな拍手を送っていました。

午後、伊藤建設委員長、田中飯田市長、教育委員、各分館長の皆さんによる「くす玉割り」が行われ、参加者の皆さんが大きな拍手を送っていました。

地域の力で子どもを育てる 竜丘放課後子ども教室

十一月二十一日(水)に室・体育館・運動場を学習の場として、毎週水曜日午後三時三十分から五時まで開校しました。

この日は、希望して登録した一年から六年までの四十九名が集まりました。子どもを全体指導するコーディネーター久保田寛人さんをはじめ、創作活動やスエ、教え合いの場が設けられました。



「竹とんぼ」づくりに取り組む子ども

竜丘に寄せる思い

駄科 澤柳幸四郎

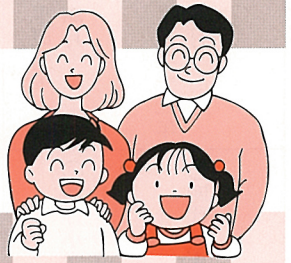
私は生まれてから二十年、この竜丘で過ごしてきました。竜丘の人たちはとても温かく、優しい人たちばかりです。また、竜丘のゆつたりとした空気が大好きです。

最近では少子高齢化が進み、子どもや若い世代の人たちが都会に出て行く



りました。ですが、いざ地元を離れて別の町で仕事をしなければならぬという事実に向き合っていると、正直いって気持ちにもなりません。私はいつまでもこのゆつたりとした温かい竜丘の地域の特徴を大切にしたいと思っています。

地域と家族のつながりを深め合う



いいだ人形劇フェスタ2010開催

いいだ人形劇フェスタ2010が八月五日から八日にかけて行われました。市内各地で公演が実施され、様々な企画も合わせて行われました。

昨年度まで希望地区のみで実施していたスタンブラーを市内全ての地区公演で実施し、また各地区では独自の企画を考え、上演終了後は劇人をもてなすための交流会を行いました。竜丘公民館も地区実行委員会を組織し五月から準備に取り掛かり、本館、分館ともに地区公演を盛り上げるために活動してまいりました。

本館では「竜丘マラソン公演」と題し、六日(金)を「一日中人形劇を楽しめる場」とし、朝から夜まで九劇団による連続公演を行いました。小さなお子さんを連れお母さんたちから移動することなく多くの人形劇を観劇することができたと喜びの声が聞かれました。お弁当を持参し家族と一緒に食べている姿もみられました。この連続公演では、中庭や木テラスの有効利用を考え、野外公演も行いました。猛暑の中の公演ということで心配しましたが、実行委員が急遽テントを張ったりシートで日陰を作ったりと対応してくれて問題なく公演できました。



初めての屋外公演

この夏の暑さも公演には大変な苦労がありました。そんな中でも分館でそれぞれ工夫し、観劇環境を整え、素晴らしい公演が行われました。交流会でもそれぞれ有意義な時間を持つことができました。この地区公演は子どもたちにも芸術を体験してもらい、家族のつながりを深めることとほろほろですが、それぞれの地区がまとまる良い機会となりました。

人形劇フェスタが、地域づくりや人づくりにどのような影響を及ぼしているか、子どもたちにどんな変化をもたらししているか検証し、今後さらに、より良いフェスタにしていければと思います。

七月十八日、竜丘公民館の大ホールにおいて、ふるさとコンサートが開催されました。多くの皆さんが演奏に聴き入りました。

このコンサートは、身近なところでクラシックの生の演奏に触れてもらおうと毎年開催されています。今回公演した「あやめカルテット」は、京都市立芸術大学の大学院生らによる弦楽四重奏団で、パイオリンの江口純子さんと三宅恵さんは昨年引き続き、ピエラの米田舞さんとチェロの山本善哉さんが初参加となりました。

前半は、パッヘルベルの「カノン」、ドヴォルザークの「弦楽四重奏」の「カノン」など、クラシックの名曲を演奏し、後半は会場からのリクエストに応じて、ジブリアンメやデイズニーの曲などを演奏しました。

弦楽四重奏のやわらかな音色は、聴衆の心を癒してくれました。

公演終了後には、一日公演していた劇人との交流会も行いました。野樂路に協力いただき「そば」によるおもてなしで交流会を行い、人形劇



地域の高齢者の方々の生きがいを助長し、介護予防の効果を高めることを目指して、平成十四年の十一月に立ち上げました。八年間かけて次第に輪が広がるとともに、目指した効果が実感できるまでに至りました。

利用者は五十三名、スタッフは二十五名で運営しています。独り住まいの方

地域の「おしゃべり」を重視しています。会場へ着くやいなや、あちこちからおしゃべりと笑い声が飛び交い笑顔がはじけます。スタッフが用意したさまざまな企画、歌や腹話術などが繰り広げられ時間はあっという間に過ぎていきます。そして毎回趣向を凝らした昼食を大勢で食べるのがこれまた大評判。昼食後昼休みを挟んで待ちます。

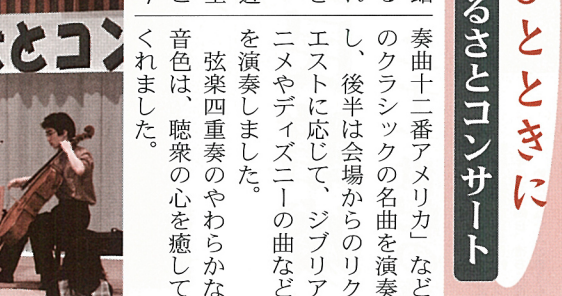
時間中の過ごし方は特に決めてありませんが、利用者同士やスタッフを交えて集まっています。

これまでは竜丘公民館を会場に開催してまいりましたが、「多くの方に聞いてもらいたい。」「いつも公民館まで来てもらっているが、こちらから地域に出かけて行って開催してはどうか。」との意見から、駄科公民館をお借りしての開催となりました。

講師に橋南公民館文化委員長の今村光利氏を迎え、小笠原氏や飯田藩が中央でどのような働きをしていたのか、飯田の様々な人物を紹介しながらお話しいただきました。「飯田の人は飯田の人物が中央で活躍していたことを意外と知らないで過ごしている。もっと誇り

文化委員会は竜丘のことをもっと多くの住民の方にも興味を持ってもらい、竜丘がどのような地域か伝えていくために、これからは「市民大学講座」や「ふるさと学習会」を開催してまいります。このことが、これからの地域づくりに少しでも役に立てばと考えています。

心を癒すひととき ふるさとコンサート



わたしの家は天竜橋のすぐ上流にあります。だから、外に出ると橋が目に見えぬ。毎日、橋を見ながら学校に行き、帰ってくる時は橋がむかえてくれます。春夏秋冬、それぞれすくすくきれいなけしきがわたしの頭の中をのこっています。

春は、天竜川の向こうがわのサクラの花が橋にかかっているのけしきが見えぬ。でもきれいです。ていばうにたくさんさいている花をとお母さんにあげたこともありました。夏は、とろろの流しけしきです。とろろの明かりがいくつも

文化委員会は竜丘のことをもっと多くの住民の方にも興味を持ってもらい、竜丘がどのような地域か伝えていくために、これからは「市民大学講座」や「ふるさと学習会」を開催してまいります。このことが、これからの地域づくりに少しでも役に立てばと考えています。

文化委員会は竜丘のことをもっと多くの住民の方にも興味を持ってもらい、竜丘がどのような地域か伝えていくために、これからは「市民大学講座」や「ふるさと学習会」を開催してまいります。このことが、これからの地域づくりに少しでも役に立てばと考えています。

文化委員会は竜丘のことをもっと多くの住民の方にも興味を持ってもらい、竜丘がどのような地域か伝えていくために、これからは「市民大学講座」や「ふるさと学習会」を開催してまいります。このことが、これからの地域づくりに少しでも役に立てばと考えています。

地域に飛び出して開催 ふるさと学習会イン駄科

路、葉師堂と併額等、竜丘の様々なものを題材にして行っています。今年度も年五回の開催を予定し、今回九月二十四日は「鈴岡城と小笠原氏」という題で開催

文化委員会は竜丘のことをもっと多くの住民の方にも興味を持ってもらい、竜丘がどのような地域か伝えていくために、これからは「市民大学講座」や「ふるさと学習会」を開催してまいります。このことが、これからの地域づくりに少しでも役に立てばと考えています。

文化委員会は竜丘のことをもっと多くの住民の方にも興味を持ってもらい、竜丘がどのような地域か伝えていくために、これからは「市民大学講座」や「ふるさと学習会」を開催してまいります。このことが、これからの地域づくりに少しでも役に立てばと考えています。

文化委員会は竜丘のことをもっと多くの住民の方にも興味を持ってもらい、竜丘がどのような地域か伝えていくために、これからは「市民大学講座」や「ふるさと学習会」を開催してまいります。このことが、これからの地域づくりに少しでも役に立てばと考えています。

文化委員会は竜丘のことをもっと多くの住民の方にも興味を持ってもらい、竜丘がどのような地域か伝えていくために、これからは「市民大学講座」や「ふるさと学習会」を開催してまいります。このことが、これからの地域づくりに少しでも役に立てばと考えています。

文化委員会は竜丘のことをもっと多くの住民の方にも興味を持ってもらい、竜丘がどのような地域か伝えていくために、これからは「市民大学講座」や「ふるさと学習会」を開催してまいります。このことが、これからの地域づくりに少しでも役に立てばと考えています。

笑顔がはじける交流 みんなの家ぬくぬく

午後三時に解散しスタッフの車で帰途に着きます。利用者の方々からは、次のような喜びの声が一杯寄せられています。

「おしゃべり」を重視しています。会場へ着くやいなや、あちこちからおしゃべりと笑い声が飛び交い笑顔がはじけます。スタッフが用意したさまざまな企画、歌や腹話術などが繰り広げられ時間はあっという間に過ぎていきます。そして毎回趣向を凝らした昼食を大勢で食べるのがこれまた大評判。昼食後昼休みを挟んで待ちます。

文化委員会は竜丘のことをもっと多くの住民の方にも興味を持ってもらい、竜丘がどのような地域か伝えていくために、これからは「市民大学講座」や「ふるさと学習会」を開催してまいります。このことが、これからの地域づくりに少しでも役に立てばと考えています。

文化委員会は竜丘のことをもっと多くの住民の方にも興味を持ってもらい、竜丘がどのような地域か伝えていくために、これからは「市民大学講座」や「ふるさと学習会」を開催してまいります。このことが、これからの地域づくりに少しでも役に立てばと考えています。

文化委員会は竜丘のことをもっと多くの住民の方にも興味を持ってもらい、竜丘がどのような地域か伝えていくために、これからは「市民大学講座」や「ふるさと学習会」を開催してまいります。このことが、これからの地域づくりに少しでも役に立てばと考えています。

文化委員会は竜丘のことをもっと多くの住民の方にも興味を持ってもらい、竜丘がどのような地域か伝えていくために、これからは「市民大学講座」や「ふるさと学習会」を開催してまいります。このことが、これからの地域づくりに少しでも役に立てばと考えています。

天竜橋とわたし

わたしの家は天竜橋のすぐ上流にあります。だから、外に出ると橋が目に見えぬ。毎日、橋を見ながら学校に行き、帰ってくる時は橋がむかえてくれます。春夏秋冬、それぞれすくすくきれいなけしきがわたしの頭の中をのこっています。

文化委員会は竜丘のことをもっと多くの住民の方にも興味を持ってもらい、竜丘がどのような地域か伝えていくために、これからは「市民大学講座」や「ふるさと学習会」を開催してまいります。このことが、これからの地域づくりに少しでも役に立てばと考えています。

文化委員会は竜丘のことをもっと多くの住民の方にも興味を持ってもらい、竜丘がどのような地域か伝えていくために、これからは「市民大学講座」や「ふるさと学習会」を開催してまいります。このことが、これからの地域づくりに少しでも役に立てばと考えています。

文化委員会は竜丘のことをもっと多くの住民の方にも興味を持ってもらい、竜丘がどのような地域か伝えていくために、これからは「市民大学講座」や「ふるさと学習会」を開催してまいります。このことが、これからの地域づくりに少しでも役に立てばと考えています。

文化委員会は竜丘のことをもっと多くの住民の方にも興味を持ってもらい、竜丘がどのような地域か伝えていくために、これからは「市民大学講座」や「ふるさと学習会」を開催してまいります。このことが、これからの地域づくりに少しでも役に立てばと考えています。

文化委員会は竜丘のことをもっと多くの住民の方にも興味を持ってもらい、竜丘がどのような地域か伝えていくために、これからは「市民大学講座」や「ふるさと学習会」を開催してまいります。このことが、これからの地域づくりに少しでも役に立てばと考えています。

「イカーマン」の石像寄贈

NPPO法人飯伊学生防犯対策支援協会より寄贈された「イカーマン」の石像が公民館前に設置され、十一月七日に除幕式がおこなわれました。竜丘に「イカのおすし」の標語が浸透し防

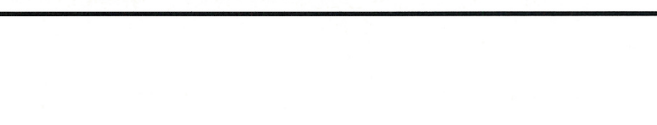
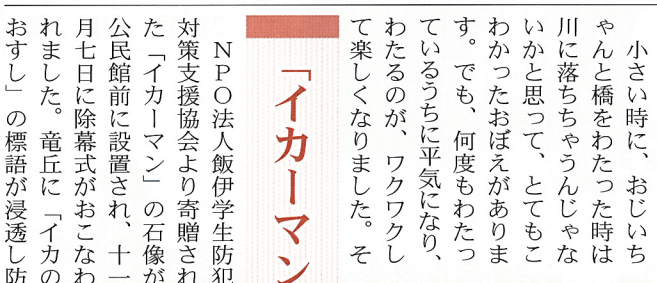
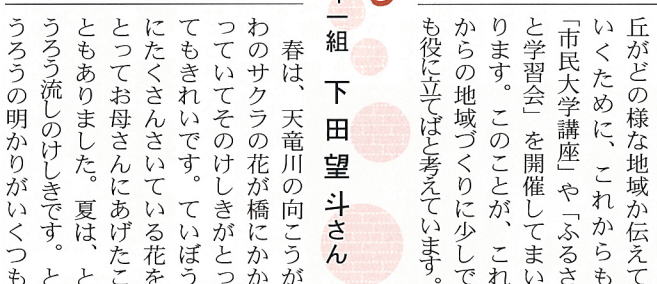
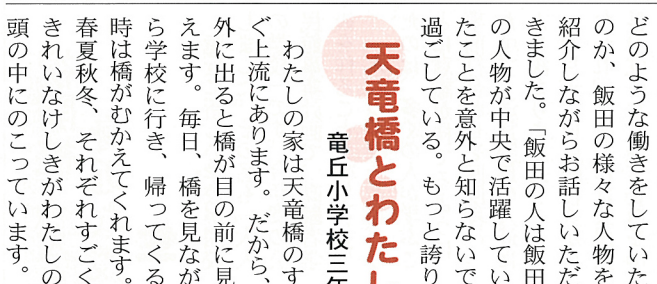
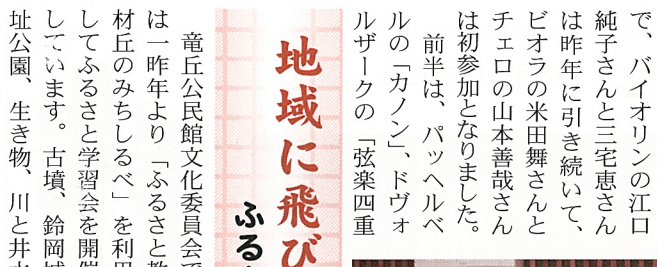
文化委員会は竜丘のことをもっと多くの住民の方にも興味を持ってもらい、竜丘がどのような地域か伝えていくために、これからは「市民大学講座」や「ふるさと学習会」を開催してまいります。このことが、これからの地域づくりに少しでも役に立てばと考えています。

文化委員会は竜丘のことをもっと多くの住民の方にも興味を持ってもらい、竜丘がどのような地域か伝えていくために、これからは「市民大学講座」や「ふるさと学習会」を開催してまいります。このことが、これからの地域づくりに少しでも役に立てばと考えています。

文化委員会は竜丘のことをもっと多くの住民の方にも興味を持ってもらい、竜丘がどのような地域か伝えていくために、これからは「市民大学講座」や「ふるさと学習会」を開催してまいります。このことが、これからの地域づくりに少しでも役に立てばと考えています。

文化委員会は竜丘のことをもっと多くの住民の方にも興味を持ってもらい、竜丘がどのような地域か伝えていくために、これからは「市民大学講座」や「ふるさと学習会」を開催してまいります。このことが、これからの地域づくりに少しでも役に立てばと考えています。

文化委員会は竜丘のことをもっと多くの住民の方にも興味を持ってもらい、竜丘がどのような地域か伝えていくために、これからは「市民大学講座」や「ふるさと学習会」を開催してまいります。このことが、これからの地域づくりに少しでも役に立てばと考えています。



三代目天竜橋渡り納め